

今回はスーパー耐久シリーズ最長となる9時間のロングレースです。

速さだけでなく耐久性、チーム力が問われる後半戦最初のレースですのでまずはしっかり完走して1つでも上位を狙います。



9月2日金曜日 公式練習

前日のフリー走行でミッショントラブルがあり、9時間という未知の領域を走り切る為にいかに駆動系&ブレーキを労わって走るかということドライバーの課題にして朝一の枠からセットアップと燃費を確認しながら煮詰めていきます。

9月3日土曜日 公式予選日

お昼からの予選はまずはAドライバーの村上から。タイヤを決勝に残すために1アタックと決めてコースイン。2分6秒255でクラス5位。Bドライバーの筒井選手は2分6秒594でクラス6位で合算タイムでクラス5位から決勝を走ることになります。

FRのバランスの良さを生かして淡々と走り上位進出を狙います。

9月4日日曜日 決勝

決勝の朝は雨。台風の影響で一日不安定な天気予報となり。雨ではライバル勢のFFが有利ということで少し不安です。そんな中、雨脚は止まりハーフウエットでレースはスタートの様。スタートドライバーは村上が担当です。フォーメーションラップからシグナルグリーンで9時間のレースがスタート。綺麗なスタートで上位に連らなって走りますが前方で事故があり避ける際に後続に抜かれてしまいます。それでも淡々と1台ずつパスして本来の位置へ戻ります。2時間半のスティントを終えてDドライバーの大井選手、筒井選手と順調に走り天候もドライの状態です。少しずつ順位を上げて、ラスト2時間で村上に

ドライバーチェンジした時にはクラス3位に浮上。ここで4輪タイヤ交換して一気にペースUPして4位とのギャップを広げて最後は雨宮選手がとにかく丁寧にPM6時のチェッカーまでマシンを運んでクラス3位でチェッカー。メカニックにドライバー、全員のチーム力で勝ち取った価値ある3位です。

総括 チームオーナー村上

フリー走行でのミッショントラブルがチーム全員の「まずは必ず完走しよう」という意識が固まったことで淡々とペースを守りながら走ることが実践されました。その結果ロードスターのバランスの良さが発揮されて安定した走りが最後まで続き今回の好結果に繋がったと思います。次戦はホームコースの岡山国際ですので表彰台に乗れる様にベストを尽くしていきます。ぜひ一緒に戦ってください。よろしくお願いします。

